

- 1 第一の塔 グアイタ
- 2 鯨人形館
- 3 聖マリノ教会 サンピエトロ教会Pietro
- 4 プブリコ宮
- 5 自由の女神像
- 6 サンフランチェスコ教会と絵画館
- 7 バロコ宮
- 8 電軍 / モンターレテンネル
- 9 近代兵器博物館
- 10 カーバー・ディ・バルストリエリ
- 11 おもしろ博物館
- 12 サンクイリーノ教会とカプチーニ修道院
- 13 移民博物館
- 14 第二の塔 チェスタ - Museo delle Armi Antiche
- 15 第三の塔 モンターレ
- 16 拷問博物館
- 17 国立博物館
- 18 歴史博物館
- 19 聖マリア慰安教会
- 20 冥福祈願教会
- 21 アルジッリ美術館
- 22 多目的ホール SUMS
- 23 多目的ホールニードアルフルコ

- 24 観光センター ヴィザ パスポート Tel. 0549 882914
- 1 観光 - Tel. 0549 882403 - www.visitsanmarino.com
- 2 切手貨幣公社 - Tel. 0549 882370
- 3 観光事務所 - Tel. 0549 882393
- 4 ケーブルカー 駅 - Tel. 0549 883590
- 5 タクシー Tel. 0549 991441
- 6 憲兵隊 Tel. 113 / 0549 888888
- 7 薬局 Tel. 0549 883858
- 8 郵便局
- 9 RTV サンマリノ ラジオ・テレビ局 Tel. 0549 882000
- 10 会議場・ホテル Tel. 0549 888040
- 11 サンタキアラ旧修道会 / 大学 Tel. 0549 882540
- 12 図書館
- 13 テイター / 劇場
- 14 ツリスモチネマ

- 銀行 / 両替
- ロッチャのジム
- トイレ
- エレベーター
- AED (中心街の各所に配置)
- WiFiゾーン (中心街)



サンマリノ共和国



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
San Marino Historic Centre and Mount Titano World Heritage Site 2008



OSPEDALE
SAN LEO
AREZZO

はるか昔に生まれた共和国

サンマリノ共和国には、数千年の歴史があります。伝説によると、紀元3世紀に人々から特別に信頼を寄せられた聖マリノがキリスト教の小さい共同体を形成したことがその始まりとされています。ダルマチア出身の石工であったマリノは、ティターノ山を静かな環境で折りを俵げる恰好の場所として選びました。後にローマの貴婦人であったフェリチアツマからその息子の病気を奇跡的に治癒したことへのお礼としてこの山を授けられました。数世紀を経る中で、現在では平和と民主主義をもとに建国されていることが知られており、確固たるアイデンティティが確立しています。その面積は小さいにも関わらず、世界で最も古い共和国として、国連や欧州評議会などから大切な役割を与えられています。

サンマリノの特徴を述べた社会システムは、世界でも大変古い固有のもので、まず始めに負います。彼らは国家の元首に相当します。毎年4月1日と10月1日には歴史あるプロコノーリに則って魅惑的な祝祭が執り行われます。

ヨーロッパ及び世界全体の民主主義のモデルとして、その発展に貢献し重要な役割を担っています。サンマリノ共和国は、世界的に見ても価値があるもので、すべての人類のために保護されるべきです。「」の言葉をもって、世界遺産委員会では2008年7月7日、サンマリノをユネスコの世界遺産に登録しました。サンマリノの独立性と自由性と国際関係の中での重要性、その適性を認めたのです。

サンマリノの風景

ティターノ山は高くて見晴しが良く、ヴァルマレッキアとモンテフェルトロからアドリア海岸まで、国土の周りを60度見渡せるようになっています。晴天の日にもう少し遠くに目をやると、クロアチアの海岸線も見ることが出来ます。他ににはない息を飲むような素晴らしい壮大な眺めを見ることが出来ます。特にサンセントの時間帯がおススメです。

大自然は、海と田園の間の大地に広がっており、オリーブ、ワイン用のブドウ、マツ、モミ、カン、ホブラなどの木々の緑の変化やその土地の耕作物の様々な色、素晴らしい小道に咲く花々などが混り合っています。

緑多き山沿いの散歩道からローマニヤ地方の海岸を望むとその素晴らしい眺めに感動しますから、是非ご覧いただきたいと思えます。

歴史的な中心地区 - 博物館と記念碑

カルチン二広場にある第1大型バス駐車場もしくは、第9駐車場からエレベーターを通過してトラドーネ広場からサンフランチェスコ門まで行くことができ、そこから歴史的な中心地区に行くことができます。サンフランチェスコ門からは、バジリカウス通りを上り、ティターノ広場まで行きます。すると国立博物館に到着です。ティターノ広場からは、カーヴァ・ディ・バルネストリエリを見ることができエウジッポ通りに行くことができます。カーヴァ・ディ・バルネストリエリは、岩壁の中に人工的に掘られた施設で、サンマリノ石弓射手協会のショーや大きなイベントが行われます。

登って行く、より景色の良い地点イル・カントーネに到着します。ここからは、様々な色に染められた素晴らしいバリエーションを見ることが出来ます。トスカナ及びエミリア地方のアペニン山脈の壁や有名な丘が、アドリア海岸まで次第に降りていく素晴らしい光景が広がります。すぐ隣にある、現代的なロープウェイを利用してボルゴマッジョーレ地区に到着します。一方、コントラーダ、デル・ピアーネロ通りを歩いて行く、プブリコ宮(国会議事堂)のあるリバルタ広場に出ます。広場の中央にそびえるのは、自由の女神の彫刻です。1876年にオテリッパ・イロス・ワーグナー-伯爵夫人から贈られたものです。

リバルタ広場をあとにし、少し上の方に上ると、バジリカ・デル・サント(サンマリノ聖堂)があります。その隣には、サンピエトロ教会があります。サンマリノ聖堂からコントラーダ・チッタ・ピエエ通りとコントラーダ・ディ・マガツェエ二通りを上り、サラータ・アツラ・ロッカ通りを上ると、第一の塔(グアイタの塔)に到着します。第二の塔(チェスタの塔)に向かって進むと、ハット・テッレ・ストレーナ峠があり、アドリア海を下るす息を飲むような素晴らしいバリエーションが広がります。第二の塔の内部にある昔の武器の博物館を訪ねたあとは、サラータ・アツラ・チェスタ通りを下り、カーヴァ・アンティカ広場に出ます。そのままコントラーダ・サンタ・クロチエ通りを下ると、ガリバルディ広場に到着します。この広場には英雄であるガリバルディに捧げられた彫刻があります。この広場の横には、サンマリノ切手貨幣公社がありますから、切手やコインのコレクションをしている方は訪ねてみる価値があるでしょう。最後に、バジリクス通りを進むと、サンフランチェスコ門に戻ります。

国立博物館と名所旧跡

プブリコ宮 - リバルタ広場

1894年、ネオロマンック様式の建築として、建築家フランチェスコ・アツォーリのプロジェクトにより「マンネオ・ドムス・コムニス」(サンマリノの旧国会議事堂)を基礎として再建され、1996年に建築家エウ・アウレンツォによって修復されました。ここにカビターニ・レツェンティ(執政)、コンシリョ・グラマンデ・エ・エネネラーレ(大評議会)、サンマリノ共和国政府、などの本部があり、重要な民間のイベントも行われています。

衛兵の交替室: ロッカ(城塞)の衛兵は、衛兵の交替式の行われるプブリコ宮に奉養の任務を提供しています。制服は魅力的で、深緑色のダブルの上着に白と赤の飾り紐が飾られて

サンマリノ共和国

Repubblica di

SanMarino

www.visitsanmarino.com

います。赤いハットには緑色のラインが入っています。軍帽には赤い羽根、ハンツの帽には白い首飾り布(ゲツテ)が付いています。

時間: 9時半~17時半、毎時30分のとき(5月~9月)

国立博物館 - ティターノ広場 - ベルガミ宮殿内部にあります。

国立博物館 - ティターノ広場 - ベルガミ宮殿内部にあります。伝説の聖マリノにまつわる考古学的発掘品や美術的資料や、サンマリノ共和国の歴史と社会システムにまつわる様々な資料を保管しています。さらに様々な文明の資料も展示しています。古代エジプト、古代エトルリア、古代ローマ、古代ギリシャ、古代アフリカなどの時代です。最後に、1864年から1937年までにサンマリノで発行された貨幣を展示しています。

第一の塔(グアイタの塔) サリター・アツラ・ロッカ通り

12世紀にサンマリノに建造されたはじめての小さな要塞です。様々な時代に拡大されたり改修されたりしてきました。15世紀に、ウルビーノ公と教皇とサンマリノ同盟の最後の熱戦がありました。リニニの領主マラテスタとの戦い(1463)があった際にこの要塞が大変大きな役割を果たしました。1794年には、ロッカの衛兵の正式な本部が置かれ、1975年まで教皇に渡り刑務所が置かれました。

第二の塔(チェスタの塔) サリター・アツラ・チェスタ通り

サンマリノの第二の要塞で、建造されたのはおそらく13~14世紀にさかのぼります。ティターノ山(750メートル)頂上より少し高い位置にあり、他に類を見ない素晴らしい景色を堪能することができます。現在は昔の武器の博物館が入っていて、13世紀から19世紀までの資料が展示されています。

第三の塔(モンターレの塔) サリター・アル・モンターレ通り

おそらく13世紀に造られた、ティターノ山の尾根にある三番目の要塞。現在ではもう存在しない、岩壁の中に隠れた窟窿が上から見下ろす要塞の役割を果たしていました。さらに、刑務所として使われていました。入口はおよそメーターの高さがあり、確かに同時代の刑務所と同じ様の作りになっていました。この塔は中には入れません。

博物館 - サンフランチェスコ絵画館 - バジリクス通り

1361年に建てられた同名の教会の中庭回廊にあります。イタリア各州の有名な美術学校から集められた15世紀から18世紀までのフレスコ画やキャンバス画のコレクションや、修道院の神父が使用したミサなどにも使用する宗教的用具一式などがあります。

国立の博物館と美術館の入場料

- チケット(正規料金): 3ユーロ
- チケット(割引料金): 1.5ユーロ 最少25人以上のグループ、学生、小学生、中学生、高校生、付添など
- 国立博物館: 入場無料
- 1番目と2番目の塔の一括割引チケット 4.5ユーロ
- サンフランチェスコ絵画館とプブリコ宮の一括割引チケット 4.5ユーロ
- 入場無料: 重度身体障害者とその付添(前もって所定用紙にサインすること)、5歳未満の小児

国立の博物館と美術館の開館時間

- 1月2日~3月9日 / 10月20日~12月31日 : 9:00~17:00
- 3月10日~6月8日 / 9月15日~10月19日 : 9:00~17:00(月曜~金曜)
- 9:00~18:12(土曜~日曜)
- 6月9日~9月14日: 8:00~20:00
- イーラスター(バスクア)の月曜日: 9:00~19:12
- 料金所は閉館時間の30分前に閉まります。
- 休館日: 12月25日、1月1日、11月2日の午後
- 詳細につきましては www.museidistato.sm tel.0549 991369 - 0549 991295

移民博物館 移民研究センター - オ・メッリ通り24番地

サンタキアラ旧修道院内部の敷階を利用した博物館。サンマリノ移民の歴史資料を保管。入場無料 - www.museoemigrante.sm

開館時間: 4月~10月 - 9:00~18:00(月曜~金曜)

-12:00~18:00(土曜日祝日)

11月~3月 - 9:00~14:00(月曜~金曜)(土曜日祝日)は、予約の上

Tel.0549 885159

ショッピング

サンマリノ共和国では様々なショッピングをすることができます。中心街では、観光客向けに様々な土産物でたくさん用意されています。古い通りと比類のない美しいバリエーションの中で、まるで産糧のない魅力的なショッピングセンターのようです。この周辺にはさらに、ショッピングセンターや、専門店、工場直送のアウトレットなどがあり、店内は広大な商品の品から買ったものを選択することができます。

味覚

サンマリノ人は、この大地から生まれた農産物に対する深い愛を持っている。郷土料理をジャンルで伝統を重視しつつも、時代と共により良い料理へと改良しています。特有性と高いオリジナリティを組み合わせた質素でありながら本物の味を感じさせる料理は、広大な農業遺産を維持し還元することによって、味を追求するグルメ客を満足させています。

前菜には、タリアテッレ、ストロツツアブレディ、ラビオリ、カレレッティ、パッサテッリ。他にも、炭火焼肉、美味しいパン、ピアーダ、エグストラージンオリーブオイルなどがあり、全ては赤ワインと白ワインと共に食します。お菓子では、プストリゴ、カチャテッロ、チャパンペツラはモスカート(マスカットのワイン)がマスカットの貴重な干しぶどう酒と共に味わえます。

通貨

流通する通貨はユーロです。2002年よりサンマリノでデザインされたユーロ貨幣をイタリアの連邦局で製造する権限を持ちました。硬貨は、チエンティズモ(100分の1ユーロ)から2ユーロまであります。さらにサンマリノは、コレクション用のコインをスクード硬貨の他に、銀貨では5ユーロから10ユーロまで、また金貨では20ユーロから50ユーロまで製造しています。重要なものは、1974年から金貨の製造を法定貨幣として国内で製造することが再開されたことです。

国旗と国章

サンマリノの国章は、水平方向に白と青に色が分かれており、中央にその共和国の国章が描かれています。国章には盾が描かれ、その中にそり立つ3つの山の上には、羽根で飾られた3つの塔が描かれています。側面にはローリエとオークの枝が描かれ下の部分で交差して、リバルタス(自由)と書かれています。リボンで結ばれています。上部は国民主権の象徴である王冠が描かれています。

国際電話の国番号

- +378(固定電話用)
 - +39(携帯電話用)
- ツーリスト・インフォメーションセンター**
- とバスポートへの観光ビザ
- 住所: Contrada Omagnano, 20
- tel. 0549 882914 - fax 0549 882915
- e-mail: informazioni.turismo@psa.sm
- ホームページ: www.vistisanmarino.com
- バスポートに観光ビザのスタンプを押してもらいたい方は、こちらで5ユーロ払うと押してくれます。
- 開館時間: 10:00~17:00

ホテルの予約

会社名: Conorzio San Marino 2000 s.r.l.

ガイドオフィス: Piazzalle Lo Stradone

tel. 0549 882393 fax 0549 882398

e-mail: ufficioguide.turismo@psa.sm

ホームページ: www.sanmarino2000.sm

サンマリノ切手貨幣公社

一般への販売窓口住所: Piazzetta G. Garibaldi, 1

ホームページ: www.aasf.sm

tel. 0549 882353 - fax 0549 882363

開館時間: 月曜日、木曜日: 8時15分~18時00分

火曜日、水曜日、金曜日: 8時15分~14時15分

日本語



Repubblica di

SanMarino

www.visitsanmarino.com

